

# 江戸深川



## HISTORIC

「奥の細道」に旅立ったとされる探茶庵（さいとあん）跡の芭蕉（等身大の）モニュメント。清澄庭園の裏手の海辺橋南詰に所在



清澄通り、清澄庭園の裏手の  
仙台堀川「海辺橋」



深川江戸資料館は、地下一階から地上二階にわたる吹抜けに、江戸末期、天保の深川佐賀町周辺の街並みを再現した。火の見櫓が建ち、猪牙舟ちよきが浮ぶ。船宿の佇まい、白壁の土蔵。お店が並び、その路地裏に暮らす人々の営みを伝える展示は、古くてなつかしい人情と心意気を感じさせる。



深川江戸資料館は、東京メトロ、都営大江戸線「清澄白河駅」から徒歩3分。  
料金、大人三百円、子供五十円、第2・4月曜日休館。

（写真下）暮れ六つの鐘が鳴ると、館内の照明は夕暮れときを演出、空には月が出て・・・

